心原性脳塞栓症(標準)で治療を受ける患者さまへ

患者様用

患者氏名:　　様　　受け持ち医:　　受け持ち看護師:

月 日(日 時)	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
経 過(病日等)	入院1日目	入院2日目	入院3日目	入院4日目	入院5日目	入院6日目	入院7日目	入院8日目	入院9日目	入院10日目	入院11～13日目	入院14日目
達成目標	◆意識障害・麻痺・構音障害・感覚障害が増悪しない ◆指示に沿って安静が保てる ◆入院の必要性を、患者・家族が理解し同意する ◆転院基準を理解し、同意する	◆意識障害・麻痺・構音障害・感覚障害が増悪しない ◆合併症(再梗塞、出血、肺炎、褥瘡、痙攣)がない ◆指示に沿って安静が保てる			◆意識障害・麻痺・構音障害・感覚障害が増悪しない ◆合併症(再梗塞、出血、肺炎、褥瘡、痙攣)がない ◆ADLが拡大できる		【転院調整開始基準】 ◆意識障害・麻痺・構音障害・感覚障害が増悪しない ◆合併症(再梗塞、出血、肺炎、褥瘡、痙攣)がない ◆ADLが拡大できる ◆患者、家族が転院について理解できる ◆適切な再発予防薬を導入できている ◆内服薬の必要性が理解でき、確実な内服ができる	◆意識障害・麻痺・構音障害・感覚障害が増悪しない ◆合併症(再梗塞、出血、肺炎、褥瘡、痙攣)がない ◆ADLが拡大できる		◆意識障害・麻痺・構音障害・感覚障害が増悪しない ◆合併症(肺炎、褥瘡、痙攣)がない ◆点滴治療が終了している ◆ADLが拡大できる ◆食事が5割以上摂取できる	◆意識障害・麻痺・構音障害・感覚障害が増悪しない ◆合併症(肺炎、褥瘡、痙攣)がない ◆ADLが拡大できる	【転院基準】 ◆神経症状が安定している ◆ADLが拡大できる ◆不安なく転院できる
治療 薬剤 (点滴・内服)	血液をサラサラにする作用や脳を保護する作用のある点滴治療が開始になります 必要に応じて飲み薬が開始となります									点滴治療から、内服薬へ移行し治療を継続します		
リハビリ		理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が状態に応じたリハビリを開始します										
検査	血液検査・心電図検査・エックス線撮影・頭部CT検査・MRI検査 その他必要に応じて検査があります 24時間心電図モニターを装着します							随時必要な検査を行っていきます				
活動・安静度	ベッド上安静になります	ベッドギャッジアップ30度	ベッドギャッジアップ60度	ベッドギャッジアップ90度	車椅子移動	病室内歩行	病棟内歩行	病院内歩行				
食事(食事)	飲み込みの状態や疾患(既往歴など)に応じて治療食になることもあります											
清潔	看護師が身体を拭きます				シャワー浴ができます (状態によっては介助浴となります)			入浴ができます (状態によっては介助浴となります)				
排泄	差し込み便器や尿器を使用しベッド上での排泄になります				車椅子でトイレまで介助します	状態に応じてトイレまで歩行できます (必要に応じて車いすや歩行器を使用します)						
患者様及び ご家族への説明 生活指導 リハビリ 栄養指導 服薬指導	受け持ち医が入院治療計画と脳卒中地域連携パスについて説明を行います 看護師が入院生活について説明します 入院費に関する心配事がありましたら、お早めに総合窓口6番にご相談ください	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士がリハビリ計画について説明します 					薬剤師が薬について説明します 看護師が転院について説明します 受け持ち医より許可があり次第、転院調整を行います				看護師が退院後の注意点について説明します 必要に応じて、退院前に栄養指導があります 日常生活機能評価を行います	受け持ち医が転院時の説明をします 転院時脳卒中地域連携パスの説明を行います

注：入院期間については現時点で予想される期間です